

—教えて！デバガメ先生—  
 第3回 只見のブナ林



只見町のブナ林は、すばらしいとよくいわれます。初めてそれをデータで発表されたのが『ブナの山旅』（山と溪谷社）という本です。著者である坪田和人さんが日本中のブナの森を歩き、その中でトップに選んでいただいたのが、わが町のブナ林だったのです。その後、坪田さんとコンタクトをとって親しくなるうちに、学ぶ会の会員になりました。今は会津若松市に雪のない時期に移り住み、只見のブナの森に通ってお

られます。坪田さんは、いつもいわれています。「ブナの美林は日本中にある。しかし、原始的でほんものの自然が残っているブナ林はほんとに少ない」

沢登りの高桑信一さん、釣りの瀬畑雄三さん、叶津番所オーナーの坂本知忠さんも同じことを言われています。京都大名誉教授の河野昭一先生にいたっては、「こんな森は、北半球にない！」とのこと。全国、い



わんや世界中をすみずみ歩かれた方々が異口同音に言われるのですから、おそらく間違いないのでしょう。とにかく、自然の純度が高いのです。只見のブナのどこがよそと違うのか、それは次回に紹介します。(勇)

(浅草岳のブナ林 '08.3.30 撮影・恵子)

## ■学ぶ会 ML より

\*4/13 雪中カエル? 今雨の中、道に出てみてください。カエルがいっぱいです！道の両側はまだ雪が残っているのに、えらいカエルだ。お腹が大きいのでメスでしょう。しかし雪の中をはねる姿をみてみたい！（勇）

\*4/13 サシバがいっぱい 自宅上空でサシバ鳴く。屋根のすぐ上。カメラをもって構えると、山に帰る。残念！昨日は出張途中で、金山と柳津でもサシバ確認。

絶滅危惧種もここでは普通種です。（勇）

\*4/11 ユビソヤナギ取材 昨日、読売新聞会津支局のユビソヤナギ取材に対応しました。記事は今週中に福島版に掲載予定。ユビソヤナギ開花写真メインで、季節の話題として紹介されるそうです。

記者は北海道旭川支局にいたことがあるそうで、「只見って日高に似ていますね、雪食地形が」と。へー、日高ってそんな所だっけ？と思いました。（聖子）

\*4/3 ユビソヤナギ@入叶津 3月29日(土)、和子さんが浅草岳に行ったら、登山口付近の太めのユビソヤナギが伐られてキノコのほだ木状になったものが3本転がっているのを見た、と。翌日、和子さんと聖子で確認したところ、ほだ木状のは持ち去られた後でした。切り株付近にピンクのテープが落ちていたので、調査済みの木ながら、番号は分からず。胸高の少し下で伐られたようです。

近くに細い(直径5cm以上)ユビソを新たに発見。勇さんも後で確認。

他の地域ではシロヤナギの方がほだ木として人気が高いようですが、入叶津では昨年も同様なことがあり、地元で聞くと同じ人が伐ったようで、特殊な好みの方のようです。（聖）

\*4/3 ユビソヤナギ@館ノ川 3月30日(日)、和子さんと聖子でフキノトウ掘りしてたら、館ノ川で新たにユビソ2本発見。これまで館ノ川で

見つかったユビソの場所は、昔の只見川氾濫原らしき所でしたが、今回のはより只見川に近い所。只見川本流でもユビソは発見されています。同日、叶津で道路際、叶津川から少し離れた所で開花したヤナギを目撃。樹皮は黄色いけど、苞は尖り気味、周辺のユビソと比べるとやけに開花が早い。雑種っぽいです。（聖）

\*4/2 ツバメ飛来 今日午後5時ころ自宅玄関前でツバメ四羽めっけ！（勇）

>>>埼玉県入間市の小見寺です。こちらでも、昨日(4/2)自宅付近でツバメの飛来を確認しました。

\*3/22 堅雪渡り 今年初めての堅雪渡りをしました。家の裏の杉林でマヒワ十羽がチュイーン、チュイーンと鳴きながら移動、杉の球果をむしって食べていました。雄の黄色い身体が朝日に輝いてとてもきれい。ほかにカシラダカ、ヒガラ、カワラヒワ、コゲラがいました。そろそろイワツバメがくるころだけど誰か見てませんか？（勇）

\*3/3 オジロワシ婆 今朝、下福井の某から連絡あり。大和久の国道山沿いで、「老婆がタヌキを食べていた！」という情報。よく聞いてみると、それは老婆のように大きな鳥だったとのこと。白っぽい頭をしていて、タヌキに食らっていたことは間違いなさそう。きっとそれはオジロワシだ！（勇）

\*1/26 オジロワシ情報 25日、午後3:40、只見字田中上空で、オジロワシ成鳥1羽が只見湖方面に飛んでいくという情報を、目黒邦友氏からもらいました。今年もオジロの季節となりました。そこで今日只見湖に行ってみたら、ホオジロガモがたった2羽しかいなかった！その後、除掘りをしていたら、ツグミが2羽飛来。この鳥とスズメは近年少なくなったと思う。（勇）

## ■トピックス

\***第6回全国カタクリサミット inみしま**が三島町交流センター「やまびこ」で開催されます。

5月3日(土) 12:30 開場  
13:15 河野昭一先生の基調講演  
15:00 パネルディスカッション

5月4日(日) 9:00 カタクリ観察会  
(問合先/三島町役場文化観光係 0241-48-5533)

日(土)~22日(日)に只見町の季の郷・湯ら里で開催されます。

21日9:30 開会、基調講演(河野昭一先生の「ブナ林の環境維持と生物多様性の保護」や鈴木和次郎さんの「溪畔林植生と希少種ユビソヤナギの生態と保全」等)とパネル討論、交流会。

22日はブナの森観察会があります。両日とも参加申込みが必要です。

(問合先/只見町ブナ・センター0241-82-5220)

\***第2回世界ブナ・サミット inただみ**が6月21

## ■会員お薦めの本

◎オタマジャクシの本がでました。『オタマジャクシハンドブック』という本。これから外をあるくと、欲しくなる一冊です。検索表もついてます。文一総合出版というかなりマニアックな出版社からでています。このシリーズではコウモリハンドブックも秀逸。どちらも潤子さん好み? (勇)



◎最近友人から進められて読んだ本で感動しましたので推薦いたします (小見寺)

「ハチドリのとしずく」 いま、私にできること

監修 辻 信一

発行所 株式会社 光文社

定価 本体 1143 円+税

## ■活動報告

\***ガン・カモ・ハクチョウ類のカウント&観察会**

滝湖の人工給餌をやめてから、カモの種類と数が減ったようだ。減ったのは、ホシハジロとキンクロ、増えたのは、マガモとカルガモ。オナガガモは来なくなった。やはり、人の影響がありそう。

只見湖も、種類数が減った。例年見られるオカヨシガモやヨシガモがない。それに20羽くらいいたヒドリガモが1羽が見られなかった。ただ、オオバンは冬鳥として定着した模様。只見湖公園下流のヤナギのブッシュに見え隠れしているので機会があったら見てください。参加者/勇・恵子・郁奈

\*1月12日、滝湖/オオハクチョウ3、コハクチョウ52、マガモ135、コガモ60、カルガモ61、キンクロハジロ22、ホシハジロ124、スズガモ2、カワアイサ2、以上9種、461羽。スズガモが珍しいくらい。ちょっと、さびしいかな。

\*1月12日、只見湖/マガモ115、コガモ25、カルガモ61、キンクロハジロ89、ホシハジロ207、ホオジロガモ2、オオバン10。以上7種、509羽。(勇)

\***雪まつり・雪遊び**

今年の只見ふるさとの雪まつりは、ほぼ2日とも天気に恵まれ、学ぶ会の雪遊び・鍋の会は2月10日(日)に遊んで食べて飲んで喋って交流を深め、楽しみました。

参加者は地元のメンバー10人に加えて、12月に会員になった福島市の典子さん、サポート会員のkurikinさんと自転車仲間たち(ニック・み〜やん・しんご)4名、布沢の山の中から雪道を2時間歩いて来てくださった今井さんご夫妻、そして事務局・潤子さんのお母様。



まずはヤマサ商店の六角形展望小屋に集合してお茶を飲みながら自己紹介。それからスノーシュー・かんじき・テレマースキーで川沿いを歩いたり滑ったり、はまったり…。

小屋に戻ってお待ちかねの鍋。今年は和子ママが腕をふるったポトフと手巻きサラダ・湯豆腐・マトンしゃぶにヤマサ商店のお焼きを炭火で焼いていただきました。

展望小屋は急な階段を登る火の見櫓風の、とんがり屋根ガラス張り。食べるのしゃべるのに忙しく、のんびり景色を眺める余裕はなし、残念！素敵な小屋を開放してくださったヤマサ商店さま、ありがとうございました。またお借りします。

今年参加できなかった方、来年はぜひ混ざってください。(楓)



(2月10日の雪遊び・彰&恵子)

### ■活動予定

- ・4/23 (水) 19時・定例会 (勇さんのスライドショー・「勇学」の再開です)
  - ・5/10 (土) バードウォッチング&山野荘観察会
  - ・6月 総会&懇親会
  - ・6/28 (土)・6/29 (日)・7/5 (土)・7/6 (日) 町内ホテルキャラバン
  - ・8月 星空観察会
- ※月1回ペースの定例会開催を目標にします。

### ■事務局からお知らせ

学ぶ会メーリングリストについて/3月末で元の freeML のメーリングリストは終了しました。まだ移行手続きをされてなくて、かつ登録の継続をご希望の方は事務局へご連絡ください。  
(事務局 佐藤潤子)



(只見は今フクジュソウ花盛り・恵子)

### \* ご案内 \*

#### ユビソヤナギ観察会 & 春の花探勝

日時/4月19日(土) 10時~12時  
集合/黒谷「吉亭」前・午前10時  
\* 黒谷入りのフクジュソウも満開です。  
カタクリも見ごろになるでしょう。  
※事前申込不要

### 題字/本多見行

#### ■編集室から

街中の雪はほとんどなくなり、フクジュソウが黄色の絨毯を拓けています。キクザキイチゲやカタクリも咲き始めました。これから只見は光り輝く季節です。学ぶ会も動き出します。

またお届けが遅れてしまいました。次回は断固、発行します。  
(楓)